

5. 介護サービス利用状況

表 79 <介入前>介護サービスの利用状況

	N	%
訪問介護	28	16.2
訪問入浴	4	2.3
訪問看護	16	9.2
訪問リハビリテーション	0	0.0
通所介護	40	23.1
通所リハビリテーション	53	30.6
福祉用具貸与	46	26.6
短期入所	23	13.3
全体		

表 80 <介入後>介護サービスの利用状況

	N	%
訪問介護	25	14.5
訪問入浴	4	2.3
訪問看護	15	8.7
訪問リハビリテーション	0	0.0
通所介護	31	17.9
通所リハビリテーション	54	31.2
福祉用具貸与	36	20.8
短期入所	28	16.2
全体		

表 81 <介入前>介護サービスの利用額

	最小値	最大値	平均(単位)	標準偏差
総 額	600	31167	11606.32	7796.473
訪問介護	0	23,887	1826.70	4416.97
訪問入浴	0	12,938	195.49	1357.92
訪問看護	0	12,222	613.72	1963.83
訪問リハビリテーション	0	0	0.00	0.00
通所介護	0	19,793	2584.99	4138.22
通所リハビリテーション	0	23,295	3811.05	4900.56
福祉用具貸与	0	3,950	611.95	890.95
短期入所	0	24,151	1781.82	4797.57

表 82 <介入後>介護サービスの利用額

	最小値	最大値	平均(単位)	標準偏差
総 額	600	45,056	12781.80	8317.71
訪問介護	0	24,752	2096.05	4961.02
訪問入浴	0	11,500	271.07	1481.32
訪問看護	0	10,468	542.28	1593.76
訪問リハビリテーション	0	0	0.00	0.00
通所介護	0	21,024	2383.11	4359.35
通所リハビリテーション	0	25,314	4364.30	4899.64
福祉用具貸与	0	3,950	590.98	907.09
短期入所	0	17,362	2534.01	4638.56

表 83 介護サービス利用総額

	最小値	最大値	平均(単位)	標準偏差
<介入前>介護サービス利用総額	600	31,167	11606.32	7796.47
<介入後>介護サービス利用総額	600	45,056	12781.80	8317.71

基準に該当する家族介護者の選定実施状況記録表

介護支援専門員 氏名

計算方法：①東隣感得点：[質問 1]+[質問 4]+[質問 7]+[質問 10]
 ②孤立感得点：[質問 2]+[質問 5]+[質問 8]+[質問 11]
 ③充実感得点：[質問 3]+[質問 6]+[質問 9]+[質問 12]

該当基準：①東隣感得点…10点以上 (①~③のいずれかに該当すれば介護対象者とする)
 ②孤立感得点…7点以上
 ③充実感得点…8点以下

番号	事業所における利用者のID	訪問前の記入事項										判定結果			2回目以降のケアの実施が可能な理由	2回目以降のケアの実施が可能な理由							
		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	9/16	8	10			6	0	10/20				
(例)	123456789	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	9/16	8	10	6	0	10/20	死亡・入院・入所・転居 その他
1		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
2		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
3		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
4		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
5		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
6		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
7		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
8		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
9		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
10		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
11		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
12		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
13		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
14		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他
15		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	/					/	死亡・入院・入所・転居 その他

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

この度、私どもの事業所では、厚生労働省の研究班（主任研究者 慶應義塾大学医学部 教授 池上直己）に協力して「介護負担感・充実感に関するアンケート」を行うこととなりました。アンケートの結果をもとに、よりよいケアマネジメントの方法や、介護者の方々の負担を軽減できる方策を検討する予定です。

アンケートの結果については、個人が特定される形で公表するようなことは決してありません。研究の趣旨にご賛同いただき、調査にご協力いただけますか。

1 : 協力します

2 : 協力しません

介護負担感・充実感に関するアンケート（1回目）

問1 あなたの性別は？

1. 男性

2. 女性

問2 あなたの年齢は？

_____ 歳

問3 あなたの就業状況は？

1. 就業している（自営業・パートも含む） 2. 就業していない

問4 あなたの健康状態は？

1. 健康 2. おおむね健康 3. どちらともいえない
4. あまり健康ではない 5. 健康ではない

問5 あなたからみた介護サービスを利用している方の方との続柄は？

1. 配偶者（夫・妻） 2. 自分の親（父親・母親）
3. 配偶者の親（舅・姑） 4. その他（ ）

問6 介護生活の中で、あなたの都合の悪いときなどに、介護を代わってくださる方はいますか？

1. いる

2. いない

 裏面に続く

問7

以下のような状況について、現在のあなたはどの程度当てはまると思いますか？

最もよく当てはまる番号に○をつけてください。

		全く そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も 言 え な い	か な り そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
1	介護に費用がかかって困る	0	1	2	3	4
2	介護のことで家族や兄弟に遠慮したり言い争いしたりする	0	1	2	3	4
3	介護の専門的なことについて相談できる人がいる	0	1	2	3	4
4	本人のことが気になって熟睡できない	0	1	2	3	4
5	お世話するたびに、本人に嫌がられてつらい	0	1	2	3	4
6	上手なお世話の方法を工夫したり学んで介護をしている	0	1	2	3	4
7	介護がいつまで続くのか、先行きが不安だ	0	1	2	3	4
8	本人の困った行動や性格の変化に振り回される	0	1	2	3	4
9	介護の経験は人間として、私の成長につながった	0	1	2	3	4
10	介護に時間が取られて外出や仕事が思うようにできない	0	1	2	3	4
11	本人が介護サービス利用や通院を嫌がるので困る	0	1	2	3	4
12	介護は私の役割だと前向きに受け止めている	0	1	2	3	4

介護負担感・充実感に関するアンケート（2回目）

以下のような状況について、現在のあなたはどの程度当てはまると思いますか？
最もよく当てはまる番号に○をつけてください。

		全く そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も 言 え な い	か な り そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
1	介護に費用がかかって困る	0	1	2	3	4
2	介護のことで家族や兄弟に遠慮したり言い争いしたりする	0	1	2	3	4
3	介護の専門的なことについて相談できる人がいる	0	1	2	3	4
4	本人のことが気になって熟睡できない	0	1	2	3	4
5	お世話するたびに、本人に嫌がられてつらい	0	1	2	3	4
6	上手なお世話の方法を工夫したり学んで介護をしている	0	1	2	3	4
7	介護がいつまで続くのか、先行きが不安だ	0	1	2	3	4
8	本人の困った行動や性格の変化に振り回される	0	1	2	3	4
9	介護の経験は人間として、私の成長につながった	0	1	2	3	4
10	介護に時間が取られて外出や仕事が思うようにできない	0	1	2	3	4
11	本人が介護サービス利用や通院を嫌がるので困る	0	1	2	3	4
12	介護は私の役割だと前向きに受け止めている	0	1	2	3	4

ケアマネジャー記入票（介入対象者用）

この記入票は、介入（対応）の対象となった場合についてのみ、記入してください。

事業所における利用者ID (右詰で記入)										
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第1回 訪問日（測定日）	月	日
第2回 訪問日（測定日）	月	日

- | | | |
|-----|-------------------|----------|
| D-1 | 介入開始時に記入する事項..... | 1~6 ページ |
| D-2 | 介入終了時に記入する事項..... | 7~11 ページ |

介護支援専門員 氏名	
所 属	

D-1 介入開始時に記入する事項

介入開始時の「要介護者」の状態を記入してください。

1. 性別

男性	女性
----	----

2. 年齢

歳

3. 要介護度

要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
-----	-------	-------	-------	-------	-------

4. 日常生活自立度（寝たきり度）（JABC）（1つに○）

J	A	B	C	不明
---	---	---	---	----

5. 痴呆性老人の日常生活自立度（痴呆度）（1つに○）

正常	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明
----	---	-----	-----	------	------	----	---	----

6. 要介護者の世帯類型

1 配偶者のみ同居の世帯（高齢者2人暮らし世帯）
2 結婚していない子供と同居している世帯（配偶者のいない娘や息子と同居世帯）
3 結婚している息子夫婦と二世帯同居（息子と嫁の家族と同居している世帯）
4 結婚している娘夫婦と二世帯同居（娘と婿の家族と同居している世帯）
5 その他（具体的に_____）

※同一敷地内、二世帯も同居とする

7. 要介護者の医療機関（かかりつけ医等）への受診状況

(1) 受診科（現在かかっている受診科すべてに○）

0 なし	8 婦人科
1 内科	9 眼科
2 精神科	10 耳鼻科
3 外科	11 リハビリ科
4 整形外科	12 歯科
5 脳神経外科	13 痴呆専門外来
6 皮膚科	(ものわすれ外来・痴呆性疾患センターなど)
7 泌尿器科	14 その他 ()

(2) 通院頻度受診（科が複数の場合は合計して、1つに○をする。家族が薬のみを受け取りに行く場合も含む）

0 なし	3 週1回程度
1 月に1回程度	4 週2～3回程度
2 隔週に1回程度	5 週4回以上

(3) 往診・訪問診療の利用

0 なし	3 週1回程度
1 月に1回程度	4 週2～3回程度
2 隔週に1回程度	5 週4回以上

8. 要介護者のADL評価

今回、調査対象となった家族介護者の介護している当該要介護者のADL自立度について下記の状況を8つの選択肢から選び、数字に○をつけてください（なお、自立度の段階を決定するにあたり、各段階の定義などについての説明が4ページにあります）。

0. 自立	3. 部分的な援助	6. 全面依存
1. 準備のみ	4. 広範な援助	8. なし
2. 観察	5. 最大の援助	

8-1. ベッドの上の可動性 横になった状態からどのように動くか、寝返りをうったり、起き上がったたり、ベッド上の身体の位置を調整する	0	1	2	3	4	5	6	8
8-2. 移乗 ベッドからどのように、いすや車いすに座ったり、立ち上がるか（浴槽や便座への移乗は除く）	0	1	2	3	4	5	6	8
8-3. 家の中の移動 どのように家の中（階段を除く）を移動するか（車いすなら、車いすに移乗したあと）	0	1	2	3	4	5	6	8
8-4. 屋外の移動 どのように屋外を移動するか（車いすなら、車いすに移乗したあと）	0	1	2	3	4	5	6	8
8-5. 上半身の更衣 どのように上半身の衣類（普段着や下着）を着たり、脱いだりするか。装具・矯正具やファスナー、セーターなどを含む。	0	1	2	3	4	5	6	8
8-6. 下半身の更衣 どのように下半身の衣類（普段着や下着）を履いたり、脱いだりするか。装具・矯正具やベルト、ズボン、スカート、靴、ファスナーなどを含む。	0	1	2	3	4	5	6	8
8-7. 食事 食べたり、飲んだりする（経管栄養を含む）	0	1	2	3	4	5	6	8
8-8. トイレの使用 トイレ（ポータブルトイレ、便器や採尿器を含む）を使用する；便器への移乗、排泄後の始末、おむつの替え、人工肛門またはカテーテルの管理、衣服の整理を含む	0	1	2	3	4	5	6	8
8-9. 個人衛生 髪をとかす、歯をみがく、ひげを剃る、化粧をする、顔や手を洗どのように入浴やシャワーや清拭をするか（背中を洗うこと、洗髪は含まない）。	0	1	2	3	4	5	6	8
8-10. 入浴（過去7日間） 身体のそれぞれの部分（腕、大腿、膝下、胸部、腹部、陰部）をどう洗うかは含まれる。過去7日間における最も依存的な状態を記入する（入浴、シャワーを除く）	0	1	2	3	4	5	6	8

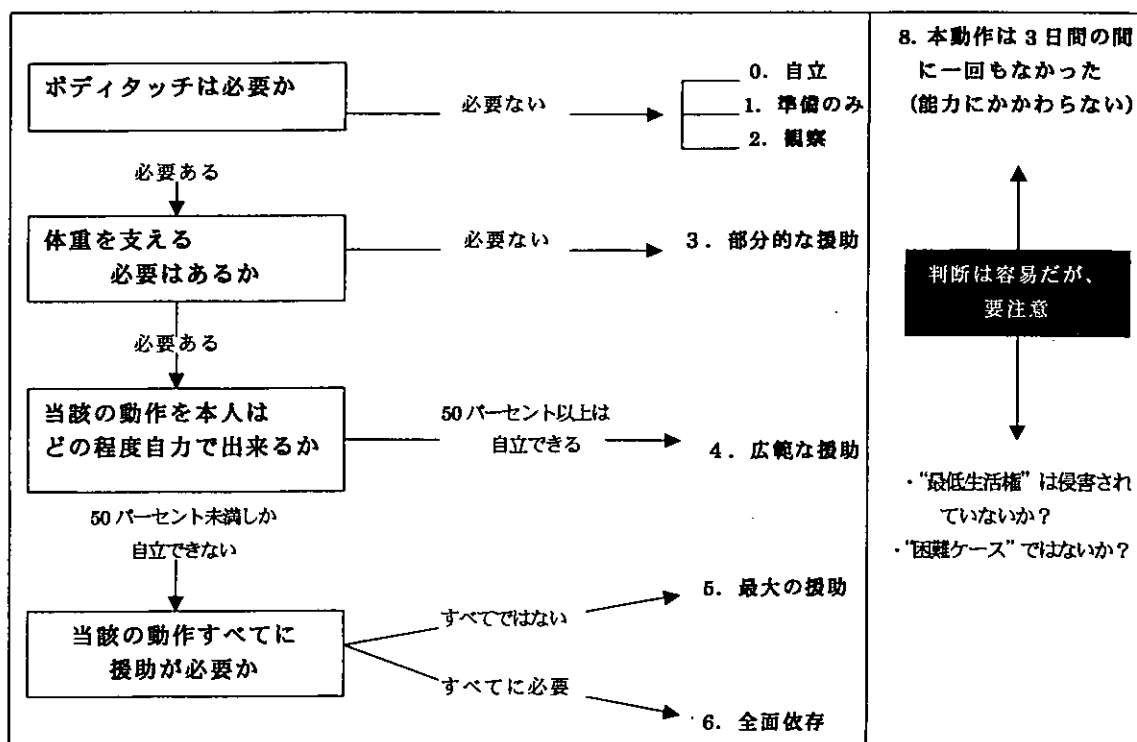
ADL 自立度記入のための資料

自立度評価段階の定義

：過去3日間にみられた8-1から8-10の食事や着衣等の日常動作について、それぞれにおけるすべての状況を考慮して評価する。自立して活動している場合も他者の励ましや観察・誘導の有無にとくに留意。〔注：入浴は過去7日間における最も依存的な状態について記入〕

0. 自立：手助け、準備、観察は不要。1~2回のみ
1. 準備のみ：物や用具を利用者の手の届く範囲に置くことが3回以上
2. 観察：見守り、励まし、誘導が3回以上、あるいは、1回以上の観察と身体援助1~2回との組み合わせ（観察と身体援助合わせて3回以上）
3. 部分的な援助：動作の大部分（50%以上）は自分でできる
 - ・四肢の動きを助けるなどの体重（身体）を支えない援助を3回以上
 - ・それ以上の援助1~2回との組み合わせ（身体援助が3回以上）
4. 広範な援助：動作の大部分（50%以上）は自分でできるが、以下の援助を3回以上
 - ・体重を支える援助（たとえば、四肢や体幹の重みを支える）
 - ・ある動作要素、あるいはすべての動作について全面援助
5. 最大の援助：動作の一部（50%未満）しか自分でできず、以下の援助を3回以上
 - ・体重を支える援助（たとえば、四肢や体幹の重みを支える）
 - ・ある動作要素、あるいはすべての動作について全面援助
6. 全面依存：まる3日間すべての面で他者が全面援助した
8. 本動作は3日間の間に1回もなかった（能力に関与しない）

自立度評価のコツ図



9. 要介護者の認知評価

9-1～9-3 について、選択肢の中から当てはまるもの1つに○をつけて下さい。

<p>9-1. 記憶を想起する能力 短期記憶：5分前の事が思い出せる。あるいはそのように見える</p>	<p>0. 問題なし 1. 問題あり</p>
<p>9-2. 日常の意思決定を行うための認知能力 どの程度自分の判断でその日の活動をうまくなしとげるか（たとえば、起床や食事すべき時間がわかる、衣服を選ぶことができる、どんな活動をするかがわかる）</p>	<p>0. 自立：首尾一貫して理にかなった判断ができる 1. 限定的な自立：新しい事態に直面した時にのみいくらかの困難がある 2. 軽度の障害：特別な状況において、判断力が弱く合図や見守りが、必要である 3. 中程度の障害：常に判断力が弱く、合図や見守りが必要である 4. 重度の障害：判断できないか、まれにしか判断できない</p>
<p>9-3. 自分を理解させることができる (伝達能力) どんな方法で表現してもよい</p>	<p>0. 理解させる事ができる：容易に考えを表現できる 1. 通常は理解させることができる：十分に時間が与えられていないと言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難。本人の考えを引き出す必要はない 2. しばしば理解させることができる：言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難。本人の考えを引き出す必要がある 3. 時々理解させることができる：その能力は具体的な欲求に限られる 4. ほとんどまたはまったく理解させることができない</p>

10. 要介護者の問題行動（問題行動があるか、また、ある場合は対応の難しさ）

0. この行動はなかった
1. 行動はあったが、容易に変えることができた
2. 行動があり、変えることは困難であった

a～d について 0,1,2 の数字を記入

- a. 暴言（他者をおびやかす、どなる、ののしる） a
- b. 暴行（他者を打つ、押す、ひっかく、性的に虐待する） b
- c. 社会的な不適當な、または混乱させる行動
（邪魔になる音をたてる騒々しい、さけぶ、自傷行為、人前で性的行動あるいは衣類を脱ぐ、食事や糞便をぬりたくる、放りなげる、所有物をかきまわす、同じ行動を繰り返す、早朝起きて迷惑をかける） c
- d. ケアに対する抵抗（服薬・ADL 介助・食事・体位変換を拒否） d

〔D-1 介入開始時に記入する事項〕

11. 1回目訪問日（測定日）から1ヵ月前にさかのぼって、要介護者や介護者のために対応した内容や回数、時間を思い出し、1ヵ月間の合計を記入してください。

なお、要介護者や介護者のための対応とは、要介護者や介護者へ連絡・相談などのほか、サービス事業者、医療機関、行政への連絡、文書の作成（給付管理などの事務作業は除く）などが含まれます。

対応方法	対応回数	対応時間	
自分が訪問する (要介護者宅へ訪問、医療機関、行政へ訪問など)	回	合計	分
来所してもらう (介護者が来所、サービス担当者が来所など)	回	合計	分
電話する、電話を受ける	回	合計	分
FAXする、FAXを受ける	回	合計	分
文書作成（事務作業は除く） (ケアプランの変更など)	回	合計	分
その他2 ()	回	合計	分
その他3 ()	回	合計	分
その他4 ()	回	合計	分

12. 1回目測定結果を踏まえ、あなたは、要介護者や介護者に対して、どのような介入を行おうと考えていますか。具体的に記入してください。

13. あなたは、介護者の負担感や充実感に関連して、現在の介護者の状態をどのように考えていますか。具体的に記入してください。

D-2 介入終了時に記入する事項

介入終了時の「要介護者」の状態を記入してください。

1. 1回目訪問日（測定日）からの1ヵ月間に、要介護者や介護者のために対応した内容や回数、時間を思い出し、1ヵ月間の合計を記入してください。

なお、要介護者や介護者のための対応とは、要介護者や介護者へ連絡・相談などのほか、サービス事業者、医療機関、行政への連絡、文書の作成（給付管理などの事務作業は除く）などが含まれます。

対応方法	対応回数	対応時間	
自分が訪問する (要介護者宅へ訪問、医療機関、行政へ訪問など)	回	合計	分
来所してもらう (介護者が来所、サービス担当者が来所など)	回	合計	分
電話する、電話を受ける	回	合計	分
FAXする、FAXを受ける	回	合計	分
文書作成（事務作業は除く） (ケアプランの変更など)	回	合計	分
その他2 ()	回	合計	分
その他3 ()	回	合計	分
その他4 ()	回	合計	分